

## 新型コロナウイルス感染症に係る県立病院の取組について

## 1 県立病院におけるこれまでの取組状況

## (1) 患者受入状況

(R4. 8. 28~~15~~現在)

病院名	確保病床数	累計受入数 (R 3 受入数)	現在受入数
宮崎病院	7 床 (感染) <del>20</del> 16 床 (一般) 計 <del>27</del> 23 床	<del>632</del> 607 人 (193 人)	<del>112</del> 9 人
延岡病院	4 床 (感染) <del>10</del> 7 床 (一般) 計 <del>14</del> 11 床	<del>361</del> 341 人 (123 人)	<del>92</del> 4 人
日南病院	4 床 (感染) 6 床 (一般) 計 10 床	<del>184</del> 168 人 ( 72 人)	<del>69</del> 人
合計	15 床 (感染) <del>36</del> 29 床 (一般) 計 <del>51</del> 44 床	<del>1,177</del> 1,116 人 (388 人)	<del>265</del> 6 人

※患者急増時には、病床を追加で確保し、患者の受入れを実施。

## (2) 主な取組（令和4年度）

- ① 他の受入医療機関との役割分担のもと、中等症以上の患者や看護必要度の高い患者の積極的な受入れを実施。
- ② 新型コロナウイルスワクチン大規模集団接種会場やワクチンバス（小児接種）等において、医師、薬剤師及び看護師がワクチン接種業務に従事し、ワクチン接種の推進に協力。
- ③ ひまわり荘敷地内に開設された自宅療養者初期治療センターにおいて、入院・外来診療のひっ迫回避のため、医師が食事が摂れない患者や症状悪化を訴える患者に対し、点滴加療や処方などの医療的措置を実施。

## 2 今後の対応方針

新型コロナウイルス感染症患者の持続的・安定的な受入れに向けた院内体制を維持しつつ、地域の医療機関とも連携しながら、県立病院が本来担うべき救急医療や高度・急性期医療等との両立を図っていく。